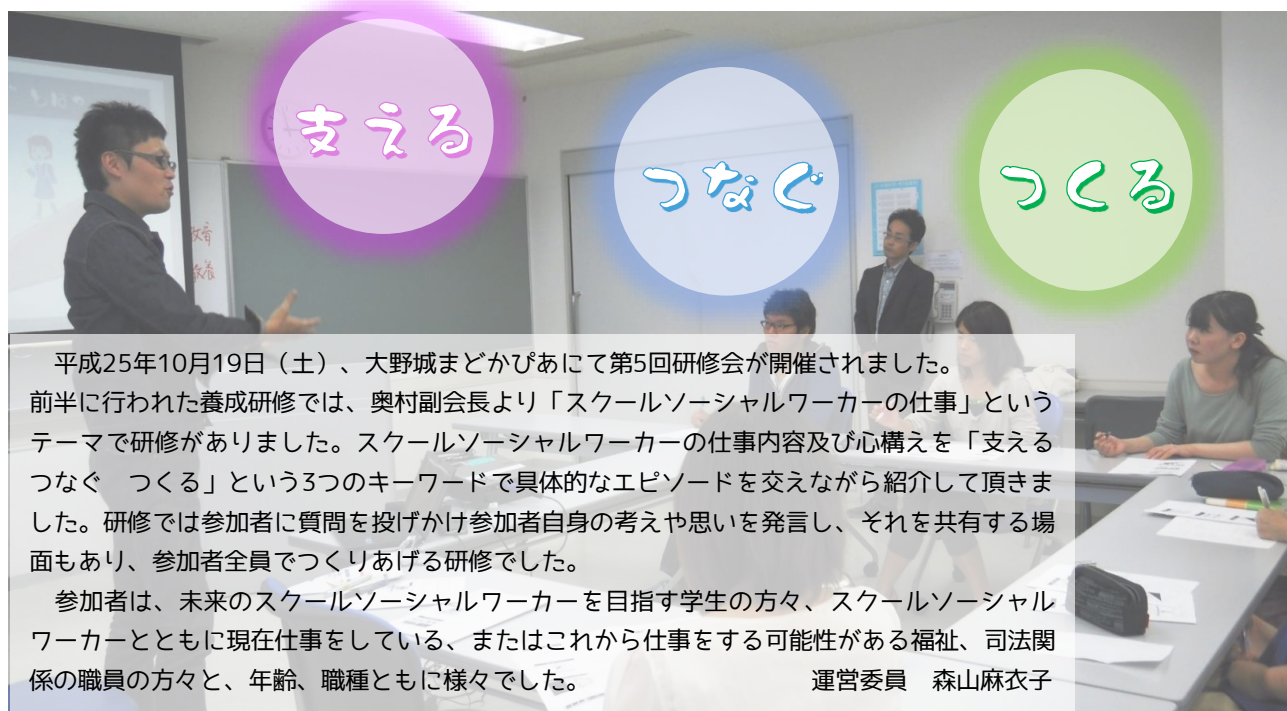




5 第5回研修会

養成研修
『スクールソーシャルワーカーの仕事』



平成25年10月19日（土）、大野城まどかぴあにて第5回研修会が開催されました。前半に行われた養成研修では、奥村副会長より「スクールソーシャルワーカーの仕事」というテーマで研修がありました。スクールソーシャルワーカーの仕事内容及び心構えを「支える つなぐ つくる」という3つのキーワードで具体的なエピソードを交えながら紹介して頂きました。研修では参加者に質問を投げかけ参加者自身の考えや思いを発言し、それを共有する場面もあり、参加者全員でつくりあげる研修でした。

参加者は、未来のスクールソーシャルワーカーを目指す学生の方々、スクールソーシャルワーカーとともに現在仕事をしている、またはこれから仕事をする可能性がある福祉、司法関係の職員の方々と、年齢、職種ともに様々でした。 運営委員 森山麻衣子

この度、初めて養成研修に参加しました。以前から、SSWの仕事に興味はあったものの、大学時代に専門的な勉強をしていなかったのが、SSWが学校現場でどのような活躍をしているのかを知りたいと思ったのが参加のきっかけです。

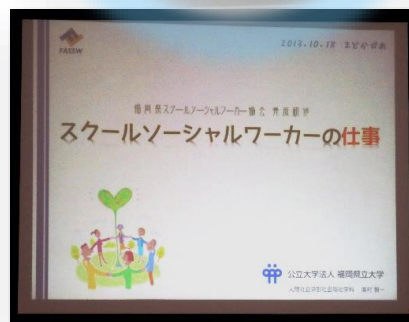
このように、SSWの知識が乏しい私でしたが、今回の研修では、SSWの仕事について、奥村副会長の経験談を交えながら分かりやすく説明していただき、SSWが果たす役割(支える・つなぐ・つくる)や具体的な仕事内容等を学ぶことができました。

特に、私が印象に残った話は、「SSWは、スーパーマンになってはいけません。」という話です。不登校、いじめ、非行等で学校不適合となっている児童生徒を目の前にすると、「力になってあげたい。」と思ってしまいがちですが、SSWは、いつまでも問題を抱える児童生徒、親、教職員、組織(学校)と関われるわけではない。

SSWが抜けたときに、大きな穴が空いては意味がないため、SSWは、いかにして支援の対象となる児童生徒、親等の力を延ばしていくかが大事だという話を聞き、とても大事な視点だと感じました。

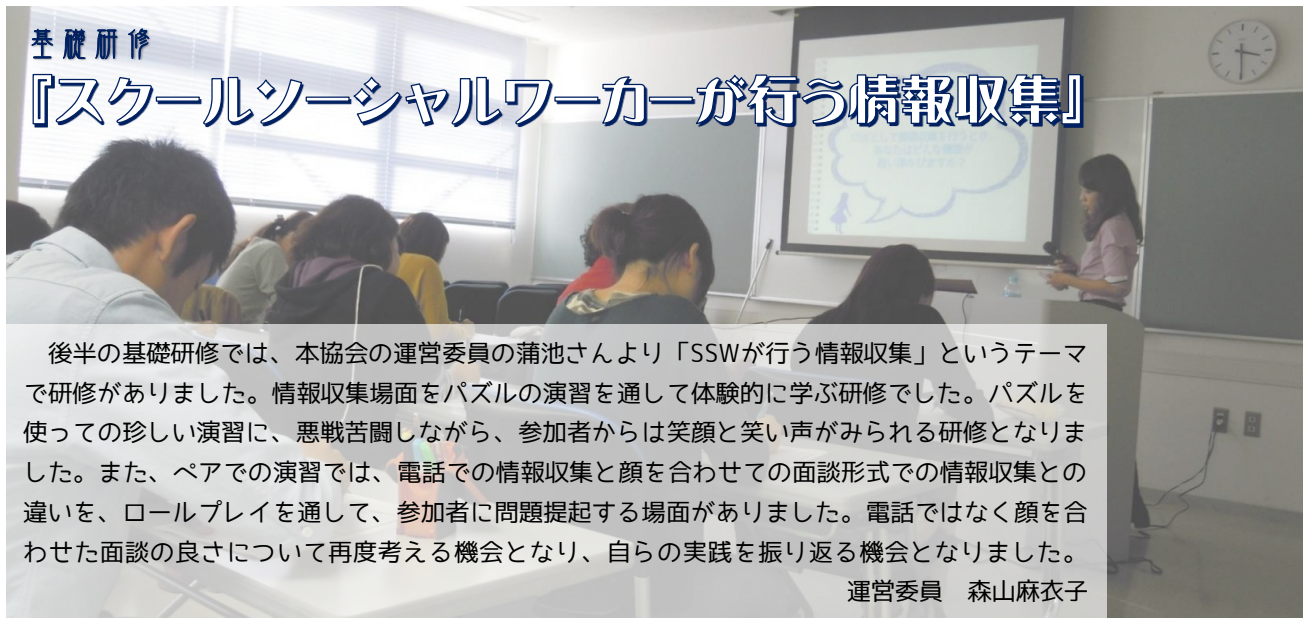
このように、今回の研修では、様々なことを学び、大変有意義な時間となりました。本当にありがとうございました。

賛助会員 島村美咲



基礎研修

『スクールソーシャルワーカーが行う情報収集』



後半の基礎研修では、本協会の運営委員の蒲池さんより「SSWが行う情報収集」というテーマで研修がありました。情報収集場面をパズルの演習を通して体験的に学ぶ研修でした。パズルを使っの珍しい演習に、悪戦苦闘しながら、参加者からは笑顔と笑い声がみられる研修となりました。また、ペアでの演習では、電話での情報収集と顔を合わせた面談形式での情報収集との違いを、ロールプレイを通して、参加者に問題提起する場面がありました。電話ではなく顔を合わせた面談の良さについて再度考える機会となり、自らの実践を振り返る機会となりました。

運営委員 森山麻衣子

今回、『SSWが行う情報収集』というテーマの下、より実践的な研修を受講させていただきました。これにより、情報収集の方法やその内容等について自分の職場の状況と比較しながら考えていくことができたと思います。

また、パズルを使った演習が個人的にとっても印象に残っていて、この演習を体験したことで自分が情報収集をしたときに、収集する相手への配慮が足りず、一人よがりになっているのではないかと気付きました。そのため今後、情報収集を行う際には、もっと収集する相手のことに配慮した工夫を考えていきたいと思っています。最初はパズルで情報収集について学ぶというのはどういうことなのだろうと思ってしまいましたが、実際にやってみるととても奥が深かったです。

私は市町村の相談機関の相談員であり、SSWとは立ち位置や役割に違いはあるのかもしれませんが、今回の研修を通して情報収集の在り方には、共通する部分や取り入れていくべき点が多く、SSWのように直接関係機関等に足を運び、情報収集や関係づくりを行っていくことが重要であるということを実感しました。さらに、何か情報が必要などきだけ連絡を入れて得られる情報と、日頃から関係づくりを行った上で直接足を運んで得られる情報とでは、その質や量に差が出てくるということも学ぶことができ、とても良い機会を与えていただいたと感じています。

この学びをこれからの支援に生かしていけるよう日々努力していきたいと思っています。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

賛助会員 山邊沙織



今回の研修会の参加者のなかには県外から参加して頂いた方々もおられ、本協会及び研修会に多くの方々が関心を抱いて下さっていることを改めて感じました。これから研修に参加される皆さんも、研修に参加された際は是非、近くの席の方々と声をかけて交流してみてください。本協会の研修で、人の輪がどんどん広がっていく一つの機会になればと思っています。

運営委員 森山麻衣子

Fukuoka

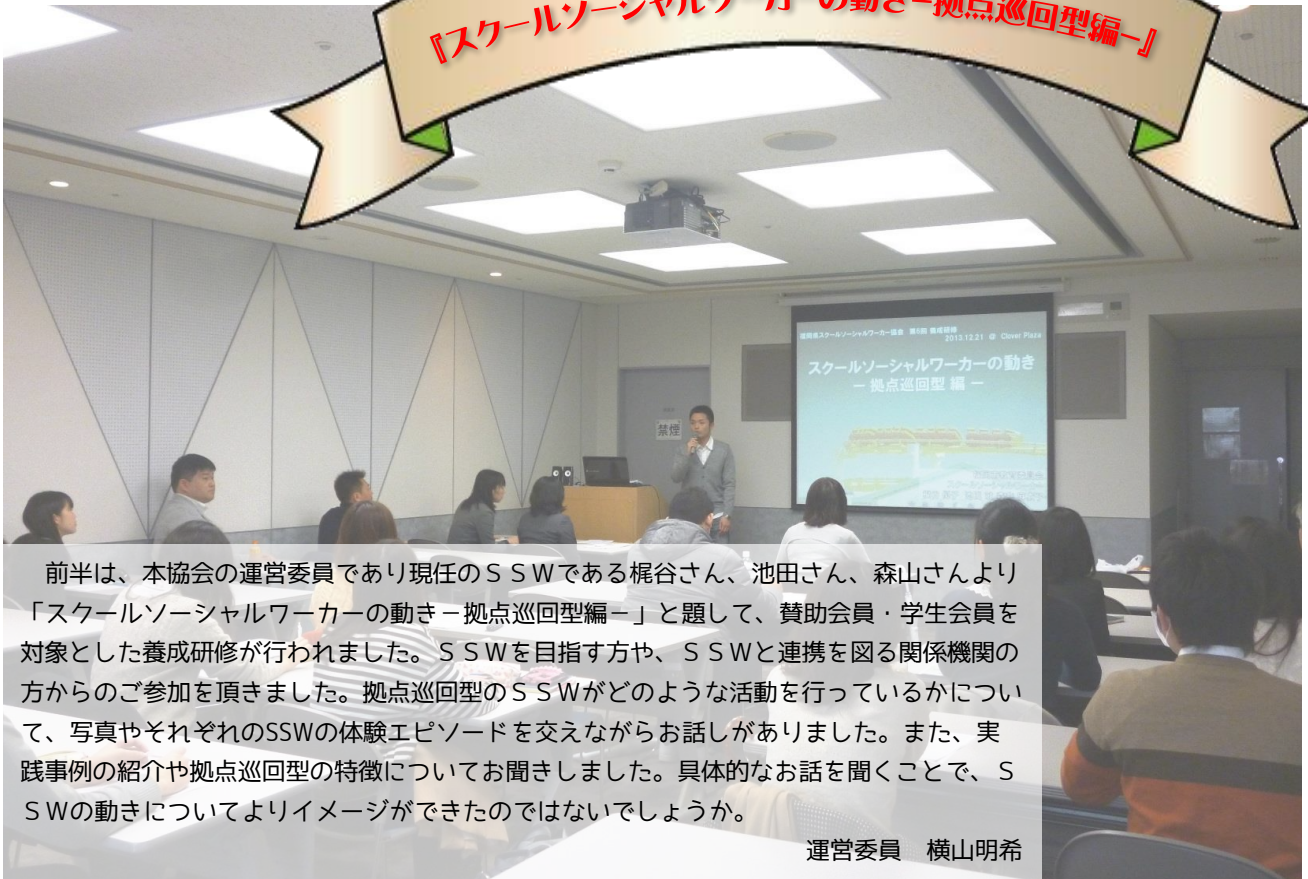
Association of

School Social Workers

6 第6回研修会

養成研修

『スクールソーシャルワーカーの動き-拠点巡回型編-』



前半は、本協会の運営委員であり現任のSSWである梶谷さん、池田さん、森山さんより「スクールソーシャルワーカーの動き-拠点巡回型編-」と題して、賛助会員・学生会員を対象とした養成研修が行われました。SSWを目指す方や、SSWと連携を図る関係機関の方からのご参加を頂きました。拠点巡回型のSSWがどのような活動を行っているかについて、写真やそれぞれのSSWの体験エピソードを交えながらお話しがありました。また、実践事例の紹介や拠点巡回型の特徴についてお聞きしました。具体的なお話を聞くことで、SSWの動きについてよりイメージができたのではないのでしょうか。

運営委員 横山明希

第6回養成研修のテーマは、拠点巡回型の動きについてでした。拠点巡回型における実践を多数ご紹介いただき、情報収集をしていくための具体的な工夫等、様々な取り組みを聞けて勉強になりました。3名の方からお話し頂いたことで、より多様な取り組みを知ることができてありがたかったです。

このように盛りだくさんな研修を受講させていただき、学校や地域に入って、子どもと子どもをとりまく人たちと日常の中で関われる拠点巡回型は、子どものためのスクールソーシャルワークをしていく上で、とてもいい仕組みであると感じました。スクールソーシャルワークは、学校を拠点に子どもを中心とするまちづくりにもつながると思っているのですが、派遣型ではなく子どもや地域との関わりがより密な拠点巡回型や拠点型が、今後広がっていったらいいなと思いました。

また、研修の最後に受講者へいただいたメッセージが心に残っています。子どもたちが安心して暮らし、そして学校で楽しく過ごしていくために何ができるのか、しっかり勉強していこうと、背筋が伸びる思いでした。次回の研修も楽しみです。ありがとうございました。

学生会員 足達咲希



基礎研修 『そーなんだ！相談面接』



後半は、「そーなんだ！相談面接」と題して本協会の運営委員である中筋さんより相談面接についての基礎研修が行われました。対人援助における面接の基本（目的、価値、対象、技法等）についてお話し頂きました。年末の研修ということで、今年一年をふり返るアイスブレイクからはじまり、和やかな様子で周囲の人と意見交換がなされていました。相談時の雰囲気作りや子どもとのコミュニケーションの方法等、新しいアイデアを持ち帰ることができました。

運営委員 横山明希

今回の研修は『そーなんだ！相談面接』というテーマで、相談面接の目的や対象者、また面接を実施するのに必要な環境等、基礎から教えていただきました。SSWの業務で面接をする機会はとて多くあります。SSWとして仕事を始めた頃は、相談面接後、自分自身でよく振り返りをしていましたが、2年目になり最近では、相談面接についてじっくり考える時間を持っていなかったのではないかとこの思いもあり、今回の研修はとて興味深いものでした。

面接は、情報収集や問題解決のための方法を考える場でもありますが、大きな目的として、援助関係の形成をするスタートの場であることを改めて感じました。日々、派遣型で業務を行っている私にとって、相談室をどのように面接しやすい環境にしていこうかという事は、考えたことがなくワーク1での環境整備という課題はとて新鮮で楽しく考えることができました。

面接の中で私は、相手の表情や姿勢、声には敏感になろうとしていましたが、自分自身の表情や、姿勢に意識が十分ではなく、話しやすい環境ではなかったのではないかと反省しました。

今回の研修では、面接相談の基礎を改めて学ぶことができ、日々の自分自身が行っている面接について振り返ること、見直すことができました。今後、面接を行う際に、子どもや保護者は緊張や不安を抱えていることを忘れず、話しやすい環境作りに努め、支援関係を形成、発展させていけるものができるよう日々考えていきたいと思いました。

正会員 田中惟子

今回、私は基礎研修に参加させていただきました。テーマは『面接技術』ということで、普段の実践のなかで面接をする機会は多くあるため、実践に繋がる情報を多く学ぶことができ、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。

普段の自身が行う面接の中では、話口調や目線、雰囲気などに注意しながらなるべく相手が話しやすい空間を、ということ意識して行ってきました。しかし、なぜ面接の中でそのような空間作りを行う必要があるのか、改めて振り返れていなかったのではないかと思います。

今回の研修で『面接』が果たす役割、方法、場面などには多くの意味や意図があるということ改めて気付くきっかけとなりました。本研修で学んだことを今後の実践の中で大いに活かしていきたいと思います。この度は貴重なお話を本当にありがとうございました。

正会員 福嶋美紗



今回の研修終了後には、情報交換会も開催されました。こちらも学生会員から正会員まで多数の方々にご参加頂きました。新たに出会いと縁が生まれ、大いに盛り上がりました。また、日頃は多くのSSWが現場では一人で活動しています。SSW同士が顔を合わせ、お互いの実践について語り合いました。

今回の研修は、今年最後の養成研修と基礎研修でした。年末のお忙しい時期にも関わらず、多くの方にご参加頂きました。来年も研修会を通して、切磋琢磨しながら専門性を高めるだけでなく、会員同士の交流や情報交換の場となることを期待しています。

運営委員 横山明希

繋

共

支

連

★ニーズを抱えている人たちを支えたり、その人の自己決定を支持していくことが大事
 ★いろんな人たちを支援、支えていく

★未来に、夢に、資源に、人につないでいく仕事
 ★学校と子ども、子どもと母親・父親、地域など機関を繋ぐ役割

結

新

輪

★国庫（県）事業から自治体独自事業へと移るよう現場（学校）、行政（教育委員）にSSWの活動を魅せていかなければならないため

魅

援

縁

和

★SSWは、家庭の和、学校の和、地域の和を推進し、「和」は足し算という意味もあり、多機関連携（ $1+1+1+1=\infty$ ）という意味で
 ★SSWは様々な所と関わっていく為、クライアントが感じているジレンマを解消する為、協働し、和を取り戻すことだと思ふため

温

考

柔

笑

特集

スクールソーシャルワーカーを漢字一文字で表すと何？

今回、第6回研修会にて会員の皆さまにご協力頂き、アンケートに答えて頂きました。

質問は、『スクールソーシャルワーカーを漢字一文字で表すと何？』です。

一番、多かった一文字は『繋』でした。続いて、『支』、『和』でした。
 同じ一文字でも、理由は様々だったのが、印象的でした。。

さて、あなたならどんな一文字が思い浮かびますか？
 また、どんな一文字のスクールソーシャルワーカーになりたいですか？

また、数年後に一文字を思い浮かべてみるとこといいかもですね。
 同じ一文字なのか・・・
 新たな一文字に変化しているのか・・・
 たくさんの一文字が増えているのか・・・

ご協力を頂いた皆さま、ありがとうございました。



広報専業

辻田有起 北九州市教育委員会

圧迫感を
与えない
雰囲気



研究専業

中筋啓介 福岡市教育委員会

どこまでも、
ポジティブ思考!



専断専

山崎千栄子 久留米大学

しにかり、元気!

笑顔と
親しみやすさなら
負けません!

逆境に強い

いろんなことに
興味関心を
抱ける



専断専

梶谷優子 福岡市教育委員会



会長

門田光司 久留米大学

未来志向



広報専業

森山麻衣子 福岡市教育委員会



副専断専

高口恵美 福岡県教育委員会

気になっただけ
と一口で



副会長

奥村賢一 福岡県立大学

184cmの身長と
家族ネタ

FASSW 運営委員紹介

運営委員のストレンジャーズ



研究専業

土井幸治 福岡市教育委員会



専断専

下田学 福岡県教育委員会

粘り強人!
雑草魂です!



副専断専

池田敏 福岡市教育委員会

悩むより
考える

デザインなら、まかせろ!!



広報専業

菊池恵 福岡市教育委員会

どこにでも
溶け込めます!



専断専

岸善智之 須恵町教育委員会

見た目と
年齢のギャップ



研究専業

藤山明希 福岡市教育委員会



川野 真実

筑前町教育委員会、筑後市教育委員会

今年度の4月から、SSWとして活動を始めることとなり、早いもので7ヶ月が過ぎようとしています。

不安や自身の不十分さを挙げればきりがありませんが、「自分自身が楽しむ！」を心がけて日々奮闘しています。ですが、楽しめるようになるにはまだ余裕が無いのが現状です…求められるものと自身の力量の差に押し潰されそうにもなります。

そのような不安な日々の中で、県内のSSWの方々と話しが出来、密度の濃い学習が出来る研修やSVの時間は、私にとって安心感を与えてくれ、モチベーションを高めてくれる大切な機会になっています。

尊敬する先輩方々に近づけるよう、子どもの笑顔が沢山見られるよう、笑顔で！日々精進したいと思います！



FASSWからのお知らせ

facebook.

事務局より

立ち上げています！！

『福岡県スクール
ソーシャルワーカー協会』

で、ご検索下さい。
最新情報を更新しています！！

研修事業より

第7回研修会は、
2月15日(土)です。
詳細は、後日お知らせします。
ぜひ、ご参加下さい！

広報事業より

* 広報誌は、年に3回配信しています。

* 次回の配信は、3月31日です。
お楽しみに～

* 広報誌では、研修会に参加された会員の皆さまにご感想を頂き、掲載しています。研修会の折には、皆さまに執筆のお願いをしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

編集担当 : 広報事業 蒲池 寺田 森山

お問い合わせ

福岡県スクールソーシャルワーカー協会 事務局

〒839-8502

福岡県久留米市御井町1635番地 久留米大学 文学部社会福祉学科 (担当/山崎)

Tel : 0942-43-4411 Fax : 0942-43-5160

E-mail : fassw-2012@hotmail.co.jp

